

# 大本愛善学苑だより

いよいよ大本愛善学苑スタートの春がやってきました！  
桜舞う出発の日をお届けします！



大本愛善学苑第一期生

令和2年4月11日、教主さまご臨席のもと「大本愛善学苑入苑式奉告祭」が、亀岡市天恩郷・万祥殿で執り行われました。

51年間続いた梅松塾の精神を引き継ぎながらも、一新したスタイルでの「学び舎」のはじまりとなりました。

初年度一期生には男女各3人ずつの定員を満たす6人の入苑生を迎えることができました。

奉告祭後の入苑式典では、入苑生紹介、大本本部長祝辞、大本愛善学苑長あいさつに続いて、入苑生を代表して鈴木彩加さん（静岡分苑所属）が、誓いの言葉を述べました。緊張の中にも、学苑生活への期待と抱負が力強く伝わってくる内容で、すがすがしい雰囲気の中、式典を納めることができました。

その後、教主さまを中心に関係者一同での記念撮影ののち、

会場を学苑舎前に移動。

教主さまご臨席のもと学苑看板除幕式を執行しました。式では修祓のち、合図にあわせて教主さまが除幕の綱を引かれました。ひのき材の看板には教主さまご揮毫「大本愛善学苑」の力強い文字がうかび上がり、会場には大きな拍手が起りました。

第一期学苑生には、これから、この学苑舎を中心に新しい生活がスタートします。聖地での日々の生活やさまざまなカリキュラムを通し、たくさんさんの経験を積んで、実りある一年にしてほしいと願っています。

時松 治彦 報告  
学苑男子部担任

